

社会教育指導員の部屋

2022.10月

生涯学習課 社会教育指導員 伴野 洋子

Mu Isamaa (エストニア共和国国歌) 歌いました♪♪

10月18日～22日の5日間、「佐久市子ども交流研修」でエストニア共和国サク市の子どもたち8名と引率者3名が佐久市を訪れました。

平成28年度から行われているこの事業は、コロナ禍で令和2年・3年と中止になり3年ぶりの受け入れとなりました。

20日午前、佐久市長表敬訪問に訪れた子どもたちと引率者を迎え、市役所市民ホールにて歓迎の気持ちを込め「佐久市職員エストニア会」会員で、エストニア国家を歌いました。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪
「佐久市職員エストニア会」とは
平成29年12月、エストニア共和国及び佐久市の姉妹都市であるエストニア共和国サク市との交流を、公私とも積極的に取り組もうとする佐久市役所職員の有志でつ
くられました。
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪



エストニア国歌「^ム ^イ ^サ ^マ ^マ (我が故国)」はもちろんエストニア語で、実際の発音は難しいのですが、歌詞をローマ字読みするとなんとなく似ているということで楽譜にふりがなをふり昼休みに練習を重ねました。

歌の完成度は、〇〇%ですが・・・お迎えする思いは100%です。

本番直前、初めて全体で歌唱練習、さあ本番！！

気持ちは一つに、きっと素晴らしい歓迎の歌になったと思います。

(エストニアの子供たちの感想を聞いてみたいような・・・そうでないような・・・)

「日本の佐久市を訪問したら、“発音が微妙なエストニア国家を聴いたよね？”」
なんて覚えていてくれたら嬉しいです。

「エストニア共和国サク市」

平成11年より「サク」という同じ名前の市であることから交流が始まり、平成19年5月1日に友好都市の協定を締結して以来、相互訪問をはじめとした様々な交流を続け、平成28年1月15日には子ども交流に関する協力覚書の調印も行われました。そして、両国の友好協力をより一層強化し、更なる発展に寄与するため、令和元年5月1日姉妹都市へと提携を変更する調印が行われました。

姉妹都市協定書には「両市は、相互の公式訪問や子ども交流を継続しつつ、教育、文化、芸術、経済その他の幅広い分野において市民及び関係団体の相互の親善交流を促進し、更なる発展に寄与するため、永続的な交流と友好関係を深めることに努める。」とあり、協力覚書には「子ども交流においては、日本とエストニアの教育制度、教育指導方法、文化、余暇の過ごし方などについてお互いに紹介しあうことを通して、国際的視野を広げることを目的とする。」と合意されています。この協定書に基づき、佐久市とサク市の中学生の相互交流のために「佐久市子ども交流研修」を実施しています。

